

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL http://www.owill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小口 英器
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03-5772-4488
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	8,366	9.7	286	65.9	270	58.8	190	49.6
30年3月期第1四半期	7,627	6.3	172	41.5	170	33.4	127	51.1

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 259百万円 (103.7%) 30年3月期第1四半期 127百万円 (59.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	60.56	—
30年3月期第1四半期	40.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	12,142	2,464	19.9
30年3月期	11,155	2,308	20.3

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 2,416百万円 30年3月期 2,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,703	3.0	324	3.2	331	8.8	220	1.1	70.00
通期	31,500	1.5	463	5.4	477	3.3	315	5.0	100.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）－、除外一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	3,150,000株	30年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	211株	30年3月期	211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	3,149,789株	30年3月期1Q	3,149,789株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移し、設備投資の増加や雇用・所得環境の改善を背景に回復基調が持続しており、個人消費についても底堅く推移いたしました。また、世界経済においては、米国の政策動向や中国をはじめとする新興国経済の下振れリスクなど、景気の先行きに不透明感はあるものの、全体的に緩やかな回復基調となりました。

食品飲料業界におきましては、消費者の健康志向や個食需要の増加など、多様なニーズに合わせた商品開発が活発化しておりますが、国内市場の縮小化による同業他社との競争激化や原材料価格の高騰など、企業収益は厳しい状況が続いております。

当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な供給体制並びに品質管理体制を維持・強化するとともに、付加価値の高い新規商品の提案を積極的に行い、取扱品目の増加及び取引先の拡大に努めてまいりました。卸売事業において、主力カテゴリーである食品副原料、茶類や果汁などの農産物同加工品の販売数量が増加したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,366,567千円（前年同期比9.7%増）となりました。前年同期に比べ売上高総利益率が上昇したことに加え、販売活動にともなう諸経費などの販売管理費が減少したことにより、営業利益は286,257千円（前年同期比65.9%増）、経常利益は270,341千円（前年同期比58.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は190,740千円（前年同期比49.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、飲料メーカー各社、多様化した消費者ニーズに応えるため、重点ブランドの強化や新たな付加価値を備えた商品の開発を推し進めておりますが、小売優位の情勢や原材料高騰もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、取引先の拡大と利益率改善を図ってまいりました。主力商品であるビタミンCなどの食品副原料、生クリームなどの乳製品、ジャスミン茶などの茶類や果汁などの農産物同加工品の販売数量が増加いたしました。

この結果、売上高は8,138,994千円（前年同期比9.6%増）となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。菓子メーカー向けPB商品の販売数量は減少したものの、業務用バルクアイスの販売数量が増加したことに加え、新規受注のPB商品の製造が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は219,740千円（前年同期比1.9%増）となりました。

<その他>

その他においては、FC事業がありますが、東京大手町地区にてコンビニエンスストアを4店舗経営しております。SQCの向上や店舗運営の効率化に努めたことにより、前年同期に比べ来店客数が増加し、販売が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は203,961千円（前年同期比4.1%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ936,378千円増加し、10,848,404千円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ50,695千円増加し、1,294,427千円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ987,073千円増加の12,142,832千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ967,436千円増加し、8,205,805千円となりました。主な要因は、買掛金及び未払金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ136,406千円減少し、1,472,916千円となりました。主な要因は、長期借入金金の減少によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ831,030千円増加し、9,678,722千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ156,043千円増加し、2,464,110千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,820,721	1,949,579
受取手形及び売掛金	5,432,843	5,962,585
商品及び製品	1,575,866	1,632,315
未着商品	589,708	689,514
原材料及び貯蔵品	25,955	33,560
未収入金	445,770	454,253
その他	27,590	134,035
貸倒引当金	△6,430	△7,443
流動資産合計	9,912,026	10,848,404
固定資産		
有形固定資産	446,464	430,831
無形固定資産	25,181	20,694
投資その他の資産	772,086	842,902
固定資産合計	1,243,732	1,294,427
資産合計	11,155,759	12,142,832
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,323,541	6,166,668
1年内返済予定の長期借入金	791,964	722,362
未払金	825,951	954,881
未払法人税等	137,476	75,251
賞与引当金	38,521	24,000
その他	120,913	262,642
流動負債合計	7,238,368	8,205,805
固定負債		
長期借入金	1,522,624	1,354,311
資産除去債務	4,513	4,533
その他	82,185	114,071
固定負債合計	1,609,322	1,472,916
負債合計	8,847,691	9,678,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	1,418,905	1,505,702
自己株式	△129	△129
株主資本合計	2,074,638	2,161,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169,873	217,982
繰延ヘッジ損益	△7,165	3,802
為替換算調整勘定	23,775	33,351
その他の包括利益累計額合計	186,483	255,136
非支配株主持分	46,945	47,539
純資産合計	2,308,067	2,464,110
負債純資産合計	11,155,759	12,142,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	7,627,501	8,366,567
売上原価	6,865,478	7,513,656
売上総利益	762,023	852,911
販売費及び一般管理費	589,526	566,653
営業利益	172,496	286,257
営業外収益		
受取配当金	2,017	2,195
受取手数料	1,611	1,611
受取補償金	115	666
その他	169	313
営業外収益合計	3,912	4,786
営業外費用		
支払利息	2,483	2,708
支払補償費	861	703
為替差損	2,784	17,219
その他	55	71
営業外費用合計	6,184	20,702
経常利益	170,224	270,341
税金等調整前四半期純利益	170,224	270,341
法人税、住民税及び事業税	50,243	67,848
法人税等調整額	△4,328	13,032
法人税等合計	45,914	80,881
四半期純利益	124,310	189,459
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,222	△1,280
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,532	190,740

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	124,310	189,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,596	48,109
繰延ヘッジ損益	△2,740	10,967
為替換算調整勘定	△520	11,449
その他の包括利益合計	3,335	70,526
四半期包括利益	127,645	259,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,981	259,392
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,336	593

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,375,632	56,006	7,431,639	195,861	7,627,501	—	7,627,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53,665	159,595	213,261	—	213,261	△213,261	—
計	7,429,298	215,602	7,644,900	195,861	7,840,762	△213,261	7,627,501
セグメント利益	159,757	18,782	178,540	1,645	180,186	△7,690	172,496

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額△7,690千円は、セグメント間取引消去△7,690千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,080,330	82,276	8,162,606	203,961	8,366,567	—	8,366,567
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,664	137,464	196,128	—	196,128	△196,128	—
計	8,138,994	219,740	8,358,735	203,961	8,562,696	△196,128	8,366,567
セグメント利益	270,852	14,292	285,144	2,979	288,123	△1,866	286,257

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,866千円は、セグメント間取引消去△1,866千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。